

「第4回福岡県ワンヘルス国際フォーラム」開催 !!

福岡県では、人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守る「ワンヘルス」が推進されています。

その一環として、令和6年2月16日（金）～17日（土）の2日間、「第4回福岡県ワンヘルス国際フォーラム」が開催されます。

このフォーラムは、新型コロナウイルス感染症をはじめとする人獣共通感染症などに対して、各分野の世界トップクラスの研究者がワンヘルスアプローチにより解決することを目指し、研究成果などが世界に向けて発信されます。

フォーラムでは、世界獣医師会会長やビル&メリンダ・ゲイツ財団の畜産部門長等による基調講演やフロア参加型総合討論が予定されています。



第4回 福岡県ワンヘルス国際フォーラム **参加無料**
Fukuoka OHIF

会期: 2024年2月17日(土) 13:00~17:40
会場: アクロス福岡4F 国際会議場 ※日英同時通訳
(〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号)

定員: 200名

テーマ: 「ワンヘルスによるウェルビーイングの実現」

閉会式
基調講演

- 1. 「医学と獣医学の対話～人類と動物のウェルビーイング～」
ラファエル・ラガンス 氏 (世界獣医師会会長)
- 2. 「低所得国における食と健康」
サミュエル・セバサガヤム 氏 (ビル&メリンダ・ゲイツ財団畜産部門長)
- 3. 「複雑化する課題の解決のためのワンヘルスアプローチ導入」
トレーシー・ゴールドステイン 氏 (コロラド州立大学ワンヘルスセンター長)
- 4. 「感染症研究からワンヘルスを目指す～人と動物の健康と幸福～」
塩田 佳代子 氏 (ボストン大学公衆衛生大学院アシスタントプロフェッサー)

総合討論 座長: 横田 文彦 氏 (九州大学准教授)

閉会式

開催時間や講演内容は変更となる可能性がありますので、最新情報はHPをご確認ください。

前日開催	前日開催	前日開催
ウェルカムレセプション 会期: 2024年2月16日 17:00~20:00 会場: ホテルニューオータニ博多 (〒810-0004 福岡県博多区東区通1丁目1番1号) 定員: 200名 会費: 3,000円 プラッ形式 PR: 第1部 17:00~18:00 大学主催によるワンヘルス発表セッション 第2部 18:00~20:00 講演者 懇話会 横田(座長)氏ネットワーキング 事前登録制となります。申込フォームからお申し込みください。	ワンヘルス・ブース出展コーナー 会期: 2024年2月16日 13:00~16:00 2月17日 10:00~15:00 会場: アクロス福岡 6F 会議室 (〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号) 内容: 企業・団体によるワンヘルス関連ブース出展 大学・業種別のワンヘルス関連展示ブース 出版者 アジア獣医師会連合(FAVA)ワンヘルスフォーラム 国際化推進センター主催によるワンヘルスフォーラム ワンヘルス推進委員会主催 ※事前登録制のため、お早めにお申し込みください。	ワンヘルス県民講座 会期: 2024年2月17日 10:00~12:00 会場: アクロス福岡 4F 国際会議場 (〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号) 内容: 前「ボストン大学助教 塩田佳代子先生とインフルエンサーによる対談(予定)」 共催: 九州の自立を支える会 福岡県、アジア獣医師会連合(FAVA)ワンヘルス福岡オフィス ※申し込み先着順のためお早めにお申し込みください。

事前参加登録あり

応募多数の場合は抽選とし、医師・獣医師、研究機関・大学・行政関係者を優先させていただきます。

福岡県ワンヘルス国際フォーラム 検索

主催: 福岡県ワンヘルス国際フォーラム実行委員会
運営事務局: アジア獣医師会連合(FAVA)ワンヘルス福岡オフィス
運営受託会社: 株式会社アウルズ

Email: convention@owsone.co.jp
<https://one-health-fukuoka-4.com>

また、フォーラム期間中、アクロス福岡の会議室には、大学や高校、企業、団体におけるワンヘルス・ブース出展コーナーを設けるほか、2月17日にはフォーラムと同会場にて、「ワンヘルス県民講座」も開催されます。

ワンヘルスに関連する世界トップクラスの専門家が集い、
それぞれの研究分野からワンヘルスとこの先にあるウェルビーイングの実現について共に考える

Program

会期: 2024年2月17日(日) 13:00~17:40 会場: アクロス福岡4F 国際会議場 定員: 200名
※日英同時通訳

- 開会式
- 基調講演
 1.  「医学と獣医学の対話～人類と動物のウェルビーイング～」
ラファエル・ラガンズ氏 (世界獣医師会会長)
スペインソリア県で大型動物性産物農家として畜産のキャリアを築き、後にスペインのカスティーリャ・レオン州の獣医公衆衛生官として2年間従事する。その後、スペイン食品安全庁の諮問委員会メンバーを務めたほか、スペイン保健省の技術委員会、スペイン獣医師会連盟の地方、自治体レベルで様々な役割を担い、カステリャ・レオン保健科学研究所、動物健康推進教養センター(CIPEC)などの非営利プロジェクトに携わる。2015年から19年まで、獣医獣医研究(NPI)会長を務め、2022年から世界獣医連合会(WVA)会長を務める。
 2.  「低所得国における食と健康」
サムエル・セバサガヤム氏 (ビル&メリнда・ゲイツ財団畜産部門長)
スリランカのペラドニア大学で獣医学及び外科学を学び、オックスフォード大学サイード・ビジネス・スクールにてMBAを取得。ビル&メリнда・ゲイツ財団に入る前は獣医医官として臨床獣医、動物保健、事業開発、政策研究に従事。その後、アメリカ合衆国農業のGAPの創設者として、畜産の生産性向上に貢献。畜産の持続可能性を推進するための研究や、畜産乳業の持続可能な発展を推進するためのプログラムを推進した。また、海洋肉類の持続可能性に関するNOAA実証ワーキンググループの議長を務めており、現在ワンヘルスアプローチを推進し、人、動物、環境の健康と幸福に貢献を遂げている。
 3.  「複雑化する課題の解決のためのワンヘルスアプローチ導入」
トレーシー・ゴールドSTEIN氏 (コロラド州立大学ワンヘルス研究所所長)
コロラド州立大学のワンヘルス研究所所長であり、免疫・微生物・疫学専攻教授。職歴以前は、カリフォルニア大学の疫学、免疫学、微生物学部の教授を務めるとともに、京校のワンヘルス研究の創設者を務め、人、野生動物、環境の健康を改善するための研究や、畜産乳業の持続可能な発展を推進するためのプログラムを推進した。また、海洋肉類の持続可能性に関するNOAA実証ワーキンググループの議長を務めており、現在ワンヘルスアプローチを推進し、人、動物、環境の健康と幸福に貢献を遂げている。
 4.  「感染症研究からワンヘルスを目指す～人と動物の健康と幸福～」
佳代子氏 (ホストン大学公衆衛生大学院アシスタントスロフェッサー)
東京大学で獣医学博士号取得後、ユタ州で公衆衛生学修士号、イェール大学で感染症疫学博士号を取得。現在、国立保健・福祉科学研究所で感染症学博士号取得。研究する感染症は多くあり、特に人、野生動物、環境の健康を改善するための研究や、畜産乳業の持続可能な発展を推進するためのプログラムを推進した。また、海洋肉類の持続可能性に関するNOAA実証ワーキンググループの議長を務めており、現在ワンヘルスアプローチを推進し、人、動物、環境の健康と幸福に貢献を遂げている。
- 総合討論 座長: 横田 文彦氏 (九州大学准教授)
- 閉会式

参加登録方法

参加登録はサイトを検索されるか、または右の二次元コードを読み込み、[福岡県ワンヘルス国際フォーラム](#) 検索 

※応募多数の場合は抽選とし、医師・獣医師・研究機関・大学・行政関係者を優先させていただきます。
抽選結果は後日、申込書にご連絡いたします。

会場へのアクセス

ウェルカムレセプション会場 **ホテルニューオータニ博多**
〒810-0004 福岡市中央区渡辺区1丁目1番2号



フォーラム会場 **アクロス福岡**
〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号



2024年2月13日
福岡ワンヘルス協議会・事務局